

# 指定管理者に対する点検総括表

(点検対象期間:平成 26 年 4 月 1 日 から平成 31 年 3 月 31 日)

施設名	南三陸町スポーツ交流村
指定管理者	陽光セントラル共同企業体
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日
所管部署	南三陸町教育委員会生涯学習課スポーツ振興係

## 所管部署所見

### 公平性、安定性、安全性に対する所見

(管理運営、公平確保、職員の配置、施設維持管理、修繕、備品管理、安全管理、個人情報の管理、情報提供、会計管理状況について総合的に記述。)

- ・仕様書、事業計画書に基づき、総じて適正に施設の管理運営が行われている。
- ・施設と備品の貸出しもルールに基づき適切に行われ、公の施設として利用者への公平性が適正な水準で保たれている。
- ・施設の維持管理に必要な各種法定点検や修繕業務も計画的に行われ、個人情報のデータも適正に管理されている。
- ・避難訓練及び消防訓練も実施し安全管理の徹底も図られている。

### 効果性、貢献性に対する所見

(利用者ニーズの把握・反映、自主事業の実施状況について総合的に記述。)

- ・利用者の意見を業務に反映させるシステムを導入し、利用者のニーズに適正な範囲で応えている。
- ・スタッフの定期的なスキル研修により、接客の質を高め、住民サービスの向上に努めている。
- ・スポーツと文化施設が併設された施設において、新たな特色ある事業を盛り込み、新規利用者の誘客活動を展開し、結果、利用者の増加に繋げている。

### 効率性に対する所見

(経費の削減について総合的に記述し、収支状況を添付。)

- ・自社の特徴を生かし、最小の経費で業務委託ができるよう工夫している。
- ・利用者に支障が出ない適正な範囲で光熱水費等の経費の削減に取り組んでいる。  
※ 収支状況は別添のとおり。

## 課題や今後の方向性についての意見等

(当該施設での指定管理者制度の課題や改善すべき方向性等について記述。)

- ・震災後、指定管理者と町当局との協議のもと、開館時間の延長ほか、弾力的な運用を図ることで利用率の向上に努めてきたが、従来の仕様書通り、段階的に震災前の利用形態に戻していくことが求められる。
- ・現状に満足せず、新たな取り組みを導入し、さらなる利用者の獲得に努め、町のシンボリック屋内施設としての利活用を図っていくことが求められる。

## 審査委員会の意見

自主事業の充実を図られたい。

## 指定管理者制度導入施設における業務点検評価表(期末モニタリング)

施設名	南三陸町スポーツ交流村	評価対象年度	平成 30 年度業務
指定管理者	陽光セントラル共同企業体	担当部署	生涯学習 課
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日		スポーツ振興 係
施設の目的	スポーツを通じて新しい交流を育むように整備されたスポーツレジャー施設である。文化ホールを備え、町民の文化活動の推進と充実を図るとともに、トレーニング室ではそれぞれのレベルにあった適切な体力・健康づくりの場として世代を問わず、新しい健康維持・増進施設の場を提供していくことである。		
業務の内容	(1) 施設の運営に関すること (2) 施設、設備及び物品の維持管理に関すること (3) 施設の設置目的に合った、利用者のニーズに応じた自主事業の実施に関すること		

総合的な評価		評価項目数
総合評価	<p>利用者ニーズに配慮した各種自主事業等の実施で増加傾向にあり、総じて町の健康づくりの中心的施設としての役割を果たしていると言えることから、今後も安定的な事業運営に期待したい。また、貸館業務においても適正な調整を図り、スムーズな運営業務を行っている。</p>	A優良 : 0
評価事項	<p>施設の適正な範囲での事業運営に努め、利用者ニーズに応えようとする姿勢が伺える。事業のマンネリ化防止のため、自主事業で各種事業（スポーツ体験イベント）を新たに企画し、結果、利用者の増加に繋げている。</p>	B適正 : 13
改善事項	<p>震災後の施設の弾力的な運用を、震災前同様の仕様書に基づいた体制づくりに段階的に戻していくことが求められる。 経年劣化による施設の老朽化が見受けられることから、計画的な施設維持管理が求められる。</p>	C改善 : 0

<b>1. 施設の管理運営・事業</b>	評価
<p>施設の貸館業務は昨年と比較し、総体的に利用者数は増となっている特にトレーニング室は男女ともに同じくらいの増加となっており非常にいい傾向といえる。アリーナについては子供たちの数も少なくなっている中で、思考をこらした事業を取り入れるなど、適正な範囲での貸館業務がなされていると言える。 &lt;年間延べ利用者数&gt; トレーニング室 H30 8,362人（昨年比：109%）、アリーナ貸切 H30 23,589人（昨年比：102%） 文化ホール H30 11,653人（103%）、会議室・和室・ミーティング室 H30 10,207人（昨年比：113%）</p>	B適正
<b>2. 利用者の公平確保</b>	評価
<p>トレーニング室の利用に関し、室内シューズの無料レンタルのサービスを実施するなどして、サービス向上を図っている。施設の貸出しのルールに基づき、申請手続きは適正に処理されている。 料金収入実績 3,374,776円（計画比122.7%）、減免金額1,341,877円（町利用・10割減免）</p>	B適正
<b>3. 職員の配置、研修等</b>	評価
<p>住民サービス向上のため、接客に関する研修やミーティングを随時行い職員のスキル向上に努めている。特に特殊な設備の音響や照明設備に関しても職員全員が対応できるような研修を実施している。また、職員の健康診断も定期的実施し、健康管理に努めている。</p>	B適正

<b>4. 施設の維持管理業務及び保守点検</b>	評価
年間を通じて計画的に点検維持管理業務が行われており、各種点検簿（保守点検簿・清掃簿他）も適正に整理されている。	B適正
<b>5. 施設の修繕</b>	評価
予算に基づき計画的に修繕業務が行われている。施設整備に関する修繕記録は設備修繕状況報告書に記載されており適正で安定した施設管理業務がなされている。	B適正
<b>6. 備品管理</b>	評価
備品は震災後の現品と備品台帳を照合し、適正に管理されていた。	B適正
<b>7. 安全(危機)管理</b>	評価
職員間において日々の業務報告で引き継ぎ業務が行われ、適正な安全管理を行っている。事故対応マニュアルも整備され、また避難訓練（年2回）のほか、職員の研修会を随時実施し、安全管理の徹底に努めている。消防法で定められた点検等も適切に記録・保管がなされている。	B適正
<b>8. 個人情報の管理</b>	評価
関係例規に沿った個人情報保護規約が整備されており、その取り扱いに関するスタッフの研修も随時行われているほか、データ管理も適切になされている。	B適正
<b>9. 利用者ニーズの把握・反映</b>	評価
以前から意見箱【利用者ボイス】を設置し、利用者のニーズに可能な範囲で応える体制づくりを行い、住民サービスの向上に努めている。利用者の声（要望）は月例報告に記載し、行政側に適正に情報提供を行っている。	B適正
<b>10. 自主事業の実施</b>	評価
昨年同様、祝日（子どもの日、海の日、体育の日）にアリーナを無料開放しスポーツ体験事業を実施した。体育の日には文化事業と融合させたイベントを実施し好評を得、地域住民の健康増進の推進に貢献した。	B適正
<b>11. 経費の節減</b>	評価
概ね事業計画書に基づき経費削減の実施を行っている。自社の特徴を生かし、委託料での経費削減を試みている。このほか人件費の削減と光熱水費については、利用状況に対応しながら、効率の良い燃料使用（暖房）、電気使用（冷房）に努め、抑制を図っている。	B適正
<b>12. 利用者への情報提供</b>	評価
チラシの配布、ポスター掲示のほか、広報・ホームページを活用し、文化・スポーツの両面において積極的に利用者への情報提供を行い、施設利用を促した。学校への周知も役場担当課と連携のもと行うなど積極的に情報発信を行う。	B適正
<b>13. 会計管理</b>	評価
月毎に契約書や領収書、支出伝票等の証拠書類が整理され、適正に管理されている。	B適正

**利用者の要望とその対応状況**

期日	要望内容	期日	対応状況
	平成30年度については、要望等の声はありませんでした。施設利用も伸びており利用者からも好評を得ているようである。		

**自主事業の実施状況**

実施状況	※ 別紙資料添付による対応可
別紙のとおり	

**収支状況** ※ 別紙資料添付による対応可

(収入)					単位：円
項目	予算額	決算額	比較増減	内訳	
計	0	0	0		
(支出)					単位：円
項目	予算額	決算額	比較増減	内訳	
計	0	0	0		